

マテリアリティとKPI (Key Performance Indicator)



詳細は、JSRグループのマテリアリティ(重要課題)をご参照ください。

| 事業活動におけるマテリアリティ | 目的 | KPI | 進捗・結果 | 2024年度目標 | 対象 | |
|-----------------|---------------|--|----------------------------------|--------------|--------------------------------------|--------|
| 生活の質・幸福への貢献 | デジタルソリューション事業 | スマート社会のデジタルを支える材料 消費電力の抑制 | サステナビリティ製品の販売 サステナビリティ製品の販売比率 | 3.5倍 2.3倍 | 3倍 ^{※1} 2倍 ^{※1} | グループ全体 |
| 健康長寿社会への貢献 | ライフサイエンス事業 | 医薬品の早期開発 開発の成功確率・開発効率向上 | サステナビリティ製品の販売 | 809億円 | 1,000億円 | グループ全体 |
| 地球環境保全への貢献 | 合成樹脂事業 | 自動車の軋み音改善による快適運転 プラスチック資源循環の実現に向けた 製品の提供 | サステナビリティ製品の販売 サステナビリティ製品の販売比率 | 16千トン 8% | 27千トン ^{※2} 10% | グループ全体 |

※1 2020年度対比 ※2 サステナビリティ製品を見直し、数値目標を変更

| 経営基盤におけるマテリアリティ | 目的 | KPI | 進捗・結果 | ゴール | 対象 |
|-----------------|--------------------------|---|---|-------------------------------|--------|
| 環境保全・負荷低減 | GHG排出量削減(Scope1&2) | GHG排出量削減(2020年度対比) | 18% | 2030年度:30%削減 2050年度:100%削減 | グループ全体 |
| | 廃棄物削減量 | 最終埋め立て量 | 0.1%以下維持 | 0.1%以下 | グループ全体 |
| 従業員 DE&I 働き方 | 従業員エンゲージメント | 継続的にエンゲージメント 向上に取り組む | グローバル調査は継続実施し、その結果への議論を踏まえ、課題を深掘りし、アクションプランの実行を継続 | エンゲージメントの継続的向上とそのための取り組み継続 | グループ全体 |
| | DE&Iの推進 | 女性管理職比率 | 6.9%(2025年3月31日時点) | 2030年度:10% | JSR単体 |
| 安全・健康 | 安全な職場環境の構築 | 労働災害の件数 設備災害の件数 | 4件(休業) 0件 | ゼロ(2024年度は前年半減が目標) ゼロ | グループ全体 |
| | 従業員の健康増進 | 経済産業省が認定する 健康経営優良法人上位500社以内 (「ホワイト500」認定) | 健康優良法人選定 (ホワイト500は未選定) | ホワイト500の取得 | JSR単体 |
| 人権尊重 | 全従業員への人権教育を提供し、人権意識を醸成する | 人権尊重に関する e-ラーニングへの参加率 | 82%(2022年) | 80%以上 | グループ全体 |
| サプライチェーン | サプライチェーン管理の強化 | JSRグループCSR調達方針および 人権方針配布後の質問書回収率 | 90%(2022年) | 100% | グループ全体 |
| | | RMIテンプレート(紛争鉱物および コバルトに関する調査)回収率 | CMRT:88%(2022年) EMRT:88%(2022年) | 100% | グループ全体 |